

予 算 要 求 資 料

令和 3 年度当初予算 支出科目 款：農林水産業費 項：林業費 目：林業振興費

事業名 ぎふの木育教材導入支援事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

林政部 恵みの森づくり推進課 木育推進係 電話番号：058-272-1111 (内 3035)

E-mail: c11513@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 3,800 千円 (前年度予算額：4,000 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	4,000	0	0	0	0	0	4,000	0	0
要求額	3,800	0	0	0	0	0	3,800	0	0
決定額	3,800	0	0	0	0	0	3,800	0	0

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- ・平成 27 年度の全国育樹祭をきっかけとした「ぎふ木育」に関する認知・機運の高まりを踏まえ、さらに県民協働の森林づくりを推進する。
- ・将来の岐阜県を担う子ども等を対象に、木製製品にふれ合う機会を設け「ぎふ木育」を推進する。
- ・子ども等に普及・啓発効果の高い、岐阜県産材を活用した木のおもちゃや木製学習教材の導入を行う市町村、学校法人等に対して支援する。

(2) 事業内容

【補助対象】

市町村、学校法人、社会福祉法人、NPO 法人等

【補助対象及び補助率並びに補助限度額】

岐阜県産材木製製品購入経費の 1/2 以内 (上限 100 千円/施設)

ぎふ木育教室を実施する場合は 10/10 (購入費用が 20 千円を超える部分は 1/2) 以内 (上限 100 千円/施設)

常設木育ひろばを設置する場合は 10/10 以内 (上限 100 千円/施設)

地域支援拠点計画承認施設については 10/10 以内 (上限 200 千円/施設)

(3) 県負担・補助率の考え方

清流の国ぎふ森林・環境基金対象事業

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	3,800	60 施設
合計	3,800	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

・長期構想

IV-1 森・川・海をつなぐ清流とふるさとの自然を守る

・森林がもつ水源かん養機能など多面的な機能を維持・増進し、健全で豊かな森林をつくる取組を進め、岐阜県の自然と水源を守る。

・第3期 岐阜県森林づくり基本計画

3 人づくり及び仕組みづくりの推進

(1) 木育・森林環境教育の推進

(2) 国・他県の状況

同様の事業は国には無い。

(3) 後年度の財政負担

課税期間である令和3年度まで税収に応じ事業を実施。

(4) 事業主体及びその妥当性

清流の国ぎふ森林・環境基金事業補助金交付要綱で定めている。

県単独補助金事業評価調書

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

補助事業名	ぎふの木育教材導入支援事業
補助事業者（団体）	市町村、市町村の設置する保育園・幼稚園・小中学校・特別支援学校、学校法人、社会福祉法人、医療法人等（理由）普及啓発効果の高い施設であるため
補助事業の概要	（目的）将来の森林づくりを担う子どもたちに対し、木材利用や環境保全に対する理解を深める （内容）岐阜証明材を使用した木のおもちゃや木製学習教材の導入に対して支援する
補助率・補助単価等	定額・定率・その他（例：人件費相当額） （岐阜県産材木製製品購入経費の 1/2 以内（上限 100 千円／施設）、ぎふ木育教室を実施する場合は 10/10（購入費用が 20 千円を超える部分は 1/2）以内（上限 100 千円／施設）、常設木育ひろばを設置する場合は 10/10 以内（上限 100 千円／施設）、地域支援拠点計画承認施設については 10/10 以内（上限 200 千円／施設）） （理由）ぎふ木育の取組を進めるため
補助効果	・将来の岐阜県を担う子ども等を対象に、木製製品にふれ合う機会を設けることで、「ぎふ木育」が日常の保育・教育現場に浸透していく。
終期の設定	終期 令和 3 年度 （理由）森林・環境基金事業の終期

（事業目標）

<p>・終期までに何をどのような状態にしたいのか</p> <p>平成 29 年度から令和 3 年度までの 5 年間で 300 施設の取組みを推進する。</p>

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H28 年度末)	目標 (R3 年度末)	目標 (終期)
① 導入施設数	0	300	300

	H29 年度	H30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度 (要求)
補助金交付実績	(予算額) 4,000 千円	(予算額) 4,000 千円	(予算額) 4,000 千円	(予算額) 4,000 千円	(要求額) 3,800 千円
指標①目標	60	60	60	60	60
指標①実績	(実績値) 52	(実績値) 60	(実績値) 63	(推計値) 60	(推計値) 60

指標①達成率	(実績値) 87%	(実績値) 100%	(実績値) 105%	(推計値) 100%	(推計値) 100%
--------	--------------	---------------	---------------	---------------	---------------

(前年度の成果)

令和元年度木育教材導入支援事業の実績
導入施設数 : 63 施設

(今後の課題)

- ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項
県内の対象とする施設に対し、事業の波及効果を導き出す必要がある

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い、△：必要性が低い 	
(評価) ○	将来の森林づくりを担う人材のみならず、消費活動等を通じて森林づくりを支える県民を育てることにつながるため、他の各施策の土台として事業の必要性は高い。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) ○	平成24年度から平成28年度までの5年間において目標値（250施設）を上回る319施設で導入されており、成果が得られている。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている、△：向上の余地がある 	
(評価) ○	手続きに必要な事項をホームページにまとめ、事業実施主体へ丁寧に説明して実施している。

(事業の見直し検討)

令和3年度の事業終期まで現行制度で事業を実施する。

(終期到来時の翌年度以降の事業方針)

継続・削減・統合・廃止

(理由) 清流の国ぎふ森林・環境基金事業の継続を前提に事業継続